

第65回 日本PTA全国研究大会
仙台大会

いばこそつながるPTA! かけがえのない子どもたちのために



▲分科会会場は多数の参加者で埋まり、熱心に話に聞き入り、熱気にあふれていた

杜の都・仙台に全国各地から七千三百人が集まり、第65回日本PTA全国研究大会が、25日に開幕した。この大会は、「つながるPTA! 子供たちの輝く未来のために」杜の都発! 多くの今を伝えたい感謝の思いと確かな歩みとともに、「」を大会スローガンとし、PTA会員同士がつながりを深め合って、子どもたちを多くの目で見守ることと、震災からの復興の姿を見てもらい数多くの支援に感謝の気持ちを表すことに趣旨としている。

初日は、仙台市内の各会場に分かれて10の分科会が行われた。各分科会では、研究課題に迫るために、基調講演や実践発表を基にパネリストによる活発な討論が行われた。また、特色あるアトラクションがそれぞれ会場で行われ、会場を

担当の特別第一分科会では、日本PTA全国協議会が埋めた会員を魅了し、大会を大いに盛り上げた。

基調講演、パネラーによる討論を通して、現状を見つめ、PTAとしてどう関わるかについて議論した。いまこそ、PTA会員がつながって、「よく見て」「聞いて」「声を掛けあって」「子供たちを見守っていくことが大事だと



▲第1分科会 参加しやすいPTA活動を議論

確認し合った。二日目の26日は、カメイアリーナ仙台において全体会があり、三宅義行氏と三宅宏実氏の父娘による全体会記念講演を行って、仙台大会が幕を閉じることになる。来年は、新潟県内を各会場として新潟大会が開催される。多くの会員の参加を期待する。

杜の都仙台に7300人が集い 熱い想いを伝え学び合う

速報

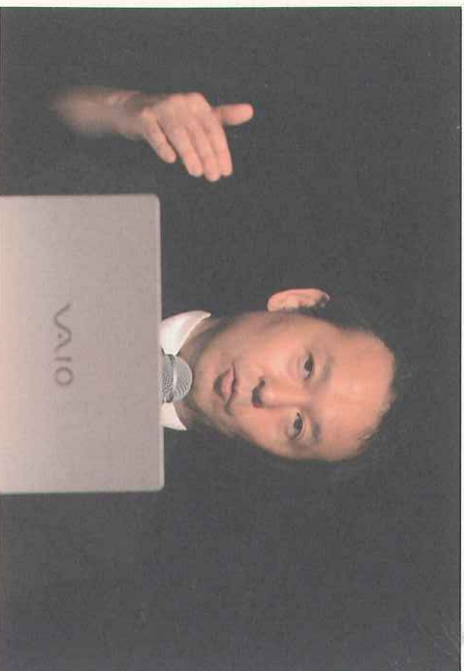
2017年(平成29年)
8月26日
土曜日

発行
第65回日本PTA全国研究大会
仙台大会実行委員会事務局
〒980-0811 仙台市青葉区一番町12-14
TEL 022-227-9545
FAX 022-227-9218



仙台大会
シンボルマーク

大会ホームページもご覧下さい
<http://zenkoku-pta-sendai.wixsite.com/sendai>



▲第2分科会 瀧靖之氏による基調講演

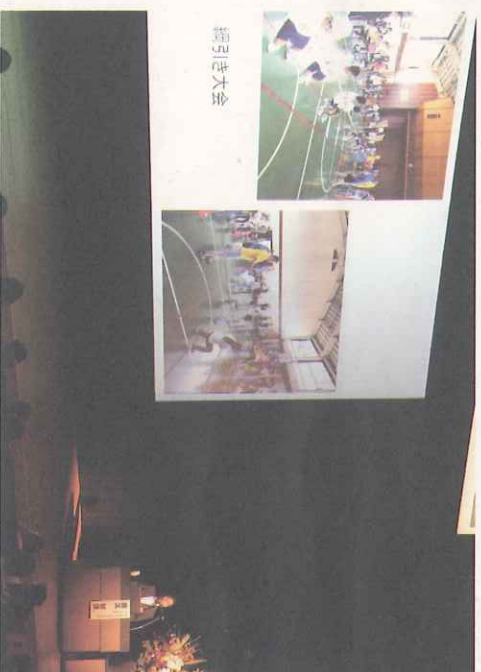
各分科会発表は盛会のうちに終了

つながろうPTA! 子どもたちの輝く未来のために ～杜の都発! みちのくの今を伝えたい 感謝の思いと確かな歩みとともに～

分科会	領域	研究課題	基調講演者
第1分科会	組織運営	多くの仲間と活動できるPTA活動を求めて 全ては子どもたちのため みんなで一緒に活動しよう	川島 高之 氏
第2分科会	家庭教育	子どもの個性を伸ばす家庭環境を求めて やる気を育む言葉のチカラ	瀧 靖之 氏
第3分科会	学校教育	協働による学校教育活動の在り方を求めて 家庭と学校と地域をつなぐ「子」コミュニケーション	宮崎 稔 氏
第4分科会	広報活動	保護者や地域への更なる発信力を求めて PTA活動の魅力を伝えよう	酒井 美紀 氏
第5分科会	地域連携	地域と共にあるPTA活動の在り方を求めて 震災の経験を活かして取り組む地域防災	麻生川 敦 氏
第6分科会	人権教育	互いを認め、尊重し合える心の教育を求めて インターネットの普及によって多様化するコミュニケーションの中で、思いやる心を育むには	武田 さち子 氏
第7分科会	環境教育	子どもたちが健やかに育つ環境の在り方を求めて 行動することで繋がる子どもたちの未来	見上 一幸 氏
第8分科会	健康安全	子どもたちの健康な心と身体を育む食を求めて 「こ食」と地域の食育	北折 一 氏
特別第1分科会	日本PTA全国協議会担当	「いじめ」何が起きているかを知る	森田 洋司 氏
特別第2分科会	文部科学省協力	支援される側から支援する側へ さらに一歩踏み出した子どもたち 子どもたちの支援活動を支えるために PTA としてできることを考えよう	田端 健人 氏



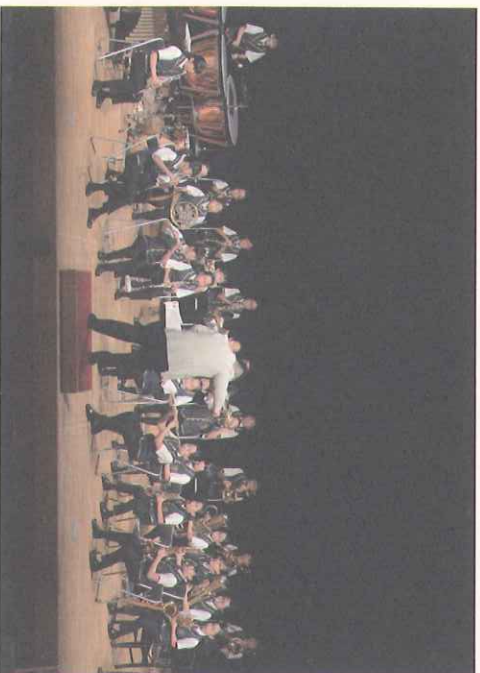
▲第3分科会 三者の連携について深め合う



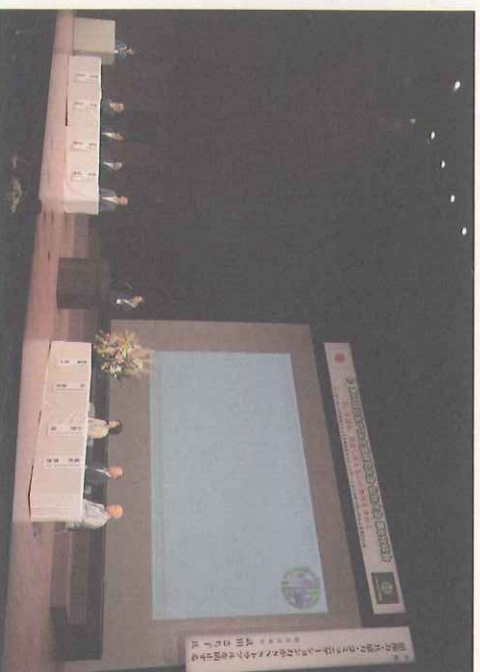
▲第4分科会 鹿又智彦氏による実践発表



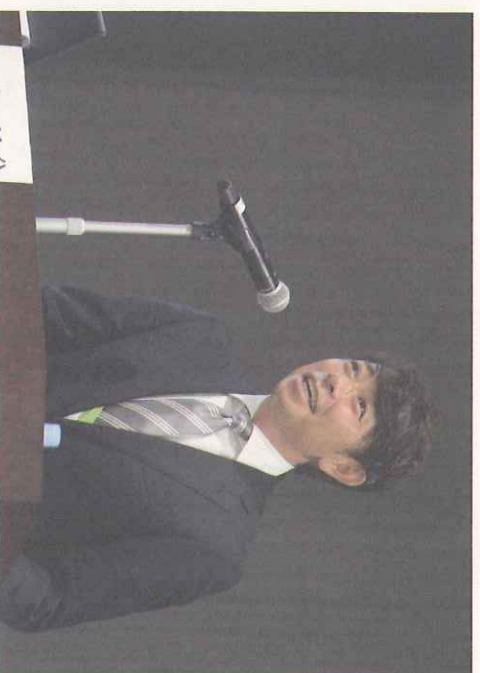
▲新潟大会PR 新潟の皆さんの熱い呼びかけ



▲第5分科会 南の星吹奏楽団の迫力ある演奏



▲第6分科会 思いやる心の育み方を話し合う



▲第7分科会 立花貴氏による実践発表



▲第8分科会 上杉山通小学校・台原中学校・常盤大学附属高等学校音楽科による合唱



▲特別第1分科会 いじめの寸劇



▲特別第2分科会 子供たちの活動の支援を議論